



NPO法人  
そーさぽ旭川



西岡さんにごきこうしてみよう！

Mr.Nishioka  
from Osaka



A' ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）  
副館長・就労支援室長  
にしおか まさじ  
西岡 正次さん

大阪府をはじめ全国の自治体や支援団体等と連携して、自立就労支援施策や人材開発施策、地方創生等の推進を応援。（一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク理事。令和3年度厚生労働省「生活困窮者自立支援のあり方等に関する論点整理のための検討会」構成員。

「若者施策としての就労支援」宮本みち子ほか編著「アンダークラス化する若者たち」（明石書店）、「生活困窮者支援で社会を変える」（法律文化社）、「相談支援を利用して『働く』『働き続ける』」宮本太郎編著「転げ落ちない社会」（勁草書房）所収。

「インクルーシブな企業づくり」  
って、  
なんですか？

2022年 1 月 14 日(金)午後 7 時から

# 「インクルーシブな企業づくり・地域づくり」 「ダイバーシティ就労支援」って、どんなん？



## ●厚生労働省ホームページ

「生活困窮者自立支援のあり方等に関する論点整理のための検討会」資料より抜粋

「働く機会や場を利用し、(次の) キャリアステップを準備する」「働きながら、キャリアの模索・形成を進める」相談者が潜在的にも拡大しており、その支援にはインクルーシブな協力事業所や支援プログラムが欠かせない。自治体・地域における就労支援はこれまでの制度(分野)別の取り組みの広がり、生活困窮者自立支援が加わり、地域全体の支援力向上を可能にしたと言える。ただ同時に我が国の「働く」仕組みや慣行等の変化は潜在的な支援対象の増大のほか、従来の就労支援が抱える支援内容の限界や課題などを明らかにした。課題解決には多部署・多機関連携の取り組みや仕組みづくりが欠かせないものとなっている。

## ●「WORK! DIVERSITY」プロジェクトホームページより

「働きづらさ」は多様であり、傷病、障害、依存症、精神的課題などの健康問題(個人的課題)や差別(社会的課題)によって就労困難となっている人々への支援は、いまだ手薄い状況にある。「働きづらさ」を抱える一人ひとりへの支援を手厚くし、継続していくには、どうすべきなのか。

[日時] 2022年1月14日(金)午後7時から(120分程度)

[方法] zoom ミーティング

[申込み] 前日までに Eメールで [ssn.asahikawa@gmail.com](mailto:ssn.asahikawa@gmail.com) までお申込みください。  
氏名とEメールアドレスを明記してください。

当日までに zoom ミーティングのリンク、ID、パスワードを送信します。

[内容] ①西岡さんのお話

②参加者でわいわい意見交換

[zoomについて]

- ・ オンラインで会議ができるアプリ zoom を使用します。各自、PC・タブレット端末・スマホにダウンロードしておいてください。
- ・ 当日は、開催20分前の午後6時40分から入室可能とします。開始時間に混雑しますので、5分前までに入室するよう、ご協力ください。入室時、申込みされたお名前を確認させていただきます。
- ・ 参加者の音声は、前半はホスト側からミュートします。後半は自由に発言できます。ビデオについては、できればオンをお願いします。
- ・ ご不明な点がございましたら、下記Eメールアドレスまでお問い合わせください。



[お申込み・お問い合わせ] NPO法人そーさぽ旭川

mail: [ssn.asahikawa@gmail.com](mailto:ssn.asahikawa@gmail.com) HP: <https://ssn-asahikawa.jimdofree.com>

※常勤スタッフがいないため、電話でのお問い合わせには対応しておりません。

